

## 政策評価調書(2年度実績)

政策名	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～	政策コード	I-4	関係部局名	生活環境部、商工観光労働部、農林水産部、土木建築部
-----	----------------------------------	-------	-----	-------	---------------------------

### 【Ⅰ. 政策の概要】

生物多様性や自然環境の保全と適正利用につながる取り組みや、3Rの推進、循環産業牽引企業の育成など、循環型社会づくりとともに、地球温暖化対策や環境教育などを推進し、地域活性化型の環境保全活動として「おおいたうつくし作戦」を進め、美しく快適な大分県を実現する。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名	指標評価	総合評価
1 豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	達成	A
2 循環を基調とする地域社会の構築	達成	A
3 地球温暖化対策の推進	達成	A
4 すべての主体が参加する美しく快適な県づくり	著しく不十分	C

### 【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

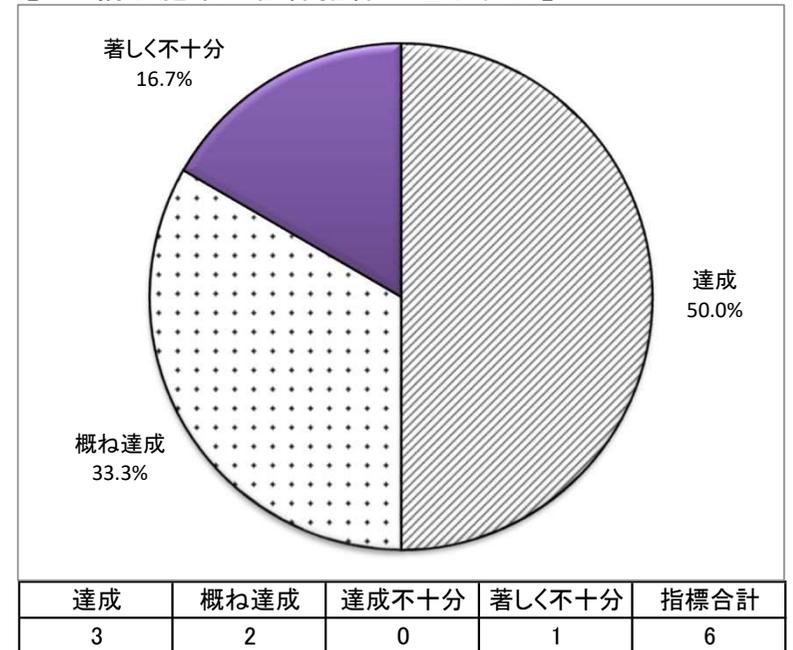
本県は、緑豊かな山野、清らかな河川、変化に富んだ海岸線、源泉数・湧出量ともに日本一を誇る温泉資源のほか、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク、姫島、豊後大野の日本ジオパーク、阿蘇くじゅう国立公園など、多彩で豊かな天然自然や地域資源に恵まれている。このような環境を未来に継承するため、自然や生物多様性の保護・保全、温泉の保護・適正利用に向けた取り組みを着実に進める必要がある。

政府は、R3年4月、2030年度の温室効果ガス排出削減目標を2013年度比46%削減とした。本県では、R2年3月、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを表明し、脱炭素社会を目指した取り組みを進めているが、今後、国の動向等を注視し、さらなる取り組みの強化が必要である。

プラスチックごみによる海洋汚染や食品ロスの問題などの新たな環境課題についてもSDGsの理念を踏まえ、取り組みを進めていく必要がある。

「第3次大分県環境基本計画」に基づき、各種環境施策を推進するとともに、「おおいたうつくし作戦」の取り組みを強化し、県民、事業者、行政が一体となって着実に進める必要がある。

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
県民一斉おおいたうつくし大行動参加者数(人)	54.8%
<b>&lt;著しく不十分となった理由&gt;</b>	
新型コロナウイルスの影響により、例年通りの集団で行う活動ができなかったため、参加者数は目標を下回った。	
おおいたうつくし推進隊に対してコロナ禍においても安心して活動ができる方法を周知するとともに、アプリやSNSを活用した啓発やイベントの実施など、多様なスタイルでの活動促進を行う。	